

議会だより おかがき

No.90 9月定例会 平成24年11月10日発行

慎重審議・チェックを経て認定！ ● 2～3

平成23年度一般会計、特別会計・公営企業会計決算

町政を問う ● 8～10

一般質問



五十年! 輝く岡垣 ひろがる未来
Anniversary
50th
since 1962

岡垣

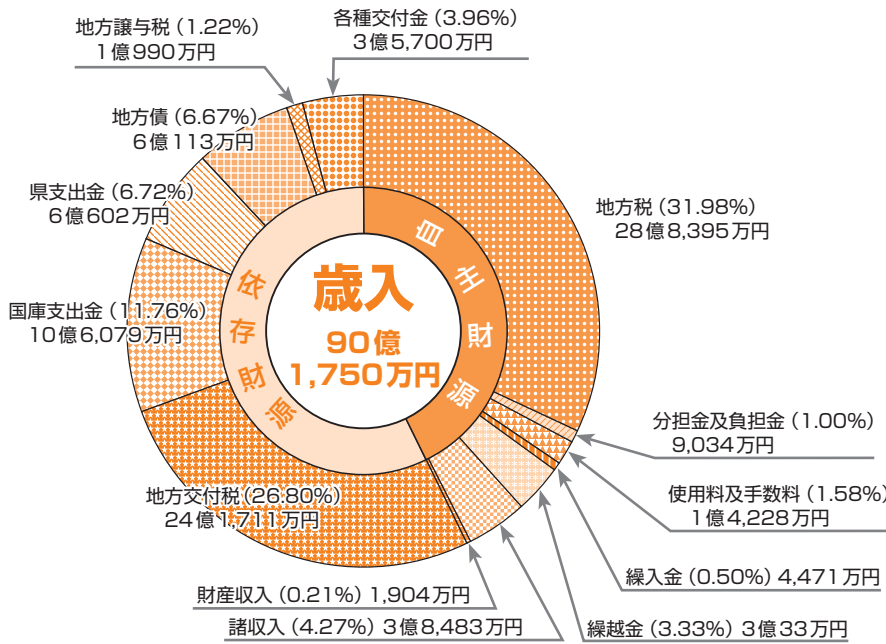
【一般会計決算の内訳】

定例会

9月

概要版

歳入(財源)

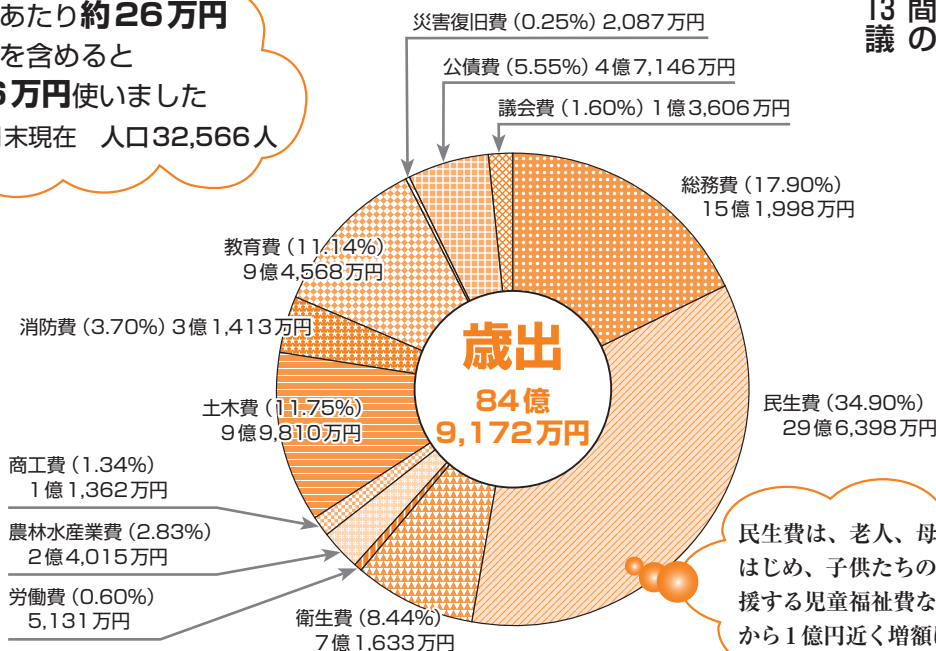


第3回定例会は9月7日から9月24日までの18日間の日程で開催され、平成23年度一般会計決算を含む13議案の審議を行いました。

平成23年度一般会計、特別会計・公営企業会計決算
慎重審議・チェックを経て認定!

歳出(使い道)

町民一人あたり約**26万円**
 特別会計を含めると
 約**38.6万円**使いました
 H24.3月末現在 人口32,566人



民生費は、老人、母子、障害者福祉をはじめ、子供たちの健やかな成長を支援する児童福祉費などで、22年度決算から1億円近く増額になっています。

まちの借金(地方債)

総額59億973万円

町民一人あたり
約18.1万円

まちの貯金(基金)

総額57億6,964万円

町民一人あたり
約17.7万円

平成23年度岡垣町各会計別決算概要

(単位:円)

区分	収入額	支出額	差引額
一般会計	9,017,503,406	8,491,723,134	525,780,272
国民健康保険会計	3,680,215,622	3,651,229,548	28,986,074
後期高齢者医療保険会計	463,183,332	455,534,291	7,649,041
住宅新築資金等特別会計	2,267,693	770,989	1,496,704
水道事業会計	496,118,833	472,685,134	公営企業会計のため表示できません
下水道事業会計	776,870,757	714,278,876	

財政健全化判断比率

指標	平成23年度	早期健全化基準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	—	14.41	20.0	財政は黒字なので、数値なし
連結実質赤字比率	—	19.41	30.0	財政は黒字なので、数値なし
実質公債費比率	4.9	25.0	35.0	地方債の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したものの
将来負担比率	—	350.0	基準なし	地方債などの現在抱えている負債の大きさと財政規模に対する割合で表したものの
資金不足比率	水道事業	—	20.0	基準なし 公営企業の資金の不足額を事業の規模に対する割合で表したものの
	下水道事業	—	20.0	基準なし 公営企業の資金の不足額を事業の規模に対する割合で表したものの

審査意見書より

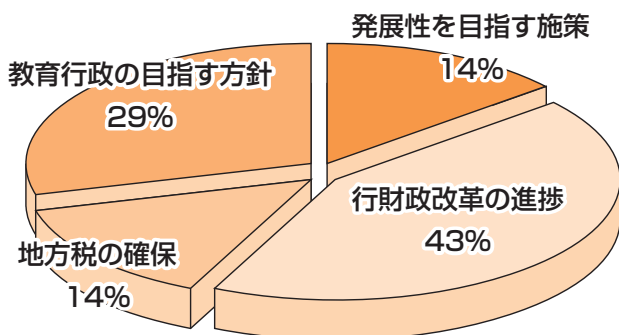
平成23年度一般会計の収支状況は、財政調整基金からの繰り入れを行わずに収支の均衡が図られている。

歳入面では、町税収入などの自主財源が減少しており、地方交付税をはじめとする依存財源の収入状況により収支が左右される状況にある。臨時財政対策債発行額は、前年に比べ減少しているものの、平成23年度末現在高は地方債現在高合計の64.9%を占めており今後も増加することが考えられ、比率に悪影響を及ぼすと予想される。安定した財政運営を行うためには、町税をはじめとする自主財源の確保を図るとともに、経常経費のさらなる圧縮を進める必要がある。

一般会計決算の質疑

連合審査会ではまず総括的な質疑を行い、次に歳入と歳出の質疑を慎重に行いました。その概要を紹介します。

総括質疑



歳出質疑項目	回数
森林再生事業	2
三里松原の松枯れ対策	2
区の事務委託料の見直し	1
職員研修	1
障害者就労支援	1
漁業振興策	2
妊婦健診	1
介護予防の促進	1
ボランティアセンターの機能的な活用	2
耐震化の進捗と耐震診断計画	1
国際交流事業の外部評価	1
ごみの減量化	1
保育所の民営化の取り組み	1
交通安全施設整備	2

平成23年度決算認定のほかに

提出された主な議案・報告

平成24年度補正予算(第1号)

一般会計補正予算

1億1673万円を増額し
総額92億9073万円に

主な使い道

- ボランテニアセンター運営事業 2699万円
- 有線放送等設備事業 291万円
- 町制50周年記念事業 381万円
- 介護基盤緊急整備補助金 2625万円
- 環境関連計画策定事業 532万円
- 商工会活性化事業(プレミアム商品券) 500万円
- 岡垣東中学校プレハブリース料 180万円
- 総合グラウンドテニスコート改修事業 1218万円
- 農業施設単独災害復旧工事 430万円
- 公共土木施設単独災害復旧工事 1150万円

条例の改正

- 岡垣町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 岡垣町防災会議条例の一部を改正する条例
- 岡垣町災害対策本部条例の一部を改正する条例
- 岡垣町立体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

報告

- 財政健全化判断比率等の報告
- 公益財団法人岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団決算報告
- 和解及び損害賠償の額の決定に係る専決処分報告

陳情

- J.R海老津駅南側道路等整備事業の一部凍結並びに縮小見直しに関する陳情
(総務産業常任委員会に付託し継続調査となりました。)

追加議事日程第1号

問責第1号

- 西田陽子議員に対する問責決議
- | | | | |
|-----|---------|-----|----|
| 提出者 | 岡垣町町会議員 | 太田 | 強 |
| 賛成者 | 岡垣町町会議員 | 安部 | 弘彦 |
| 賛成者 | 岡垣町町会議員 | 下川路 | 勲 |
| 賛成者 | 岡垣町町会議員 | 中村 | 好伸 |
| 賛成者 | 岡垣町町会議員 | 小野 | 元次 |

提案理由

平成24年9月24日開催の本会議における西田陽子議員の発言が岡垣町議会会議規則第50条に違反しているため。

議案第43号 岡垣町道路線の変更及び認定についての反対討論中に、議会運営委員会の会議運営を批判し、議案と直接関係のない岡垣町土地開発公社の運営や存続について言及しました。これは明らかに議会会議規則50条に反しています。…中略…議会運営委員会によって発言の取り消し、謝罪及び今後の発言に注意するといふ3つの勧告が行われましたが、これを受け入れず自分の発言や行動には問題ないとしています。…中略…今後責任ある発言と行動を求めて問責決議案を提出します。

議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結 果	横山 貴子	西 美千代	小野 元次	太田 強	西田 陽子	安部 弘彦	下川 路勲	平山 弘	中村 好伸	広渡 輝男	神崎 宣昭	市津 広海
岡垣町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	9/24	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町防災会議条例の一部を改正する条例	9/24	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町災害対策本部条例の一部を改正する条例	9/24	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町立体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	9/24	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 岡垣町一般会計補正予算(第1号)	9/24	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について	9/24	賛成多数 認定	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/24	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/24	賛成多数 認定	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/24	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/24	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度 岡垣町下水道事業会計決算認定について	9/24	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町道路線の変更及び認定	9/24	賛成多数 可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
西田陽子議員に対する問責決議	9/24	賛成多数 可決	○	●	○	○	除	○	○	●	○	●	○	○



松枯れの様子



町民武道館

計歳入歳出決算認定

反対の
ポイント

JR 南側道路事業は 説明責任が 果たされていない

反対

西田 陽子 議員

決算額84億9千万円で、町税は昨年引き続き減収、臨時財政対策債5億1千万円を発行し、黒字にはなっている。

臨時財政対策債は交付税の振り替え措置だが全額は保障されない。

21億5千万円のJR 駅南側道路事業の第一期工事45mの道、3軒の移転分1億9400万円の決算は、当初計画の30%も進んでいない。今回5500人ももの事業見直し・凍結を求める陳情が出ているという事は、町の説明責任が不十分であったことを示す。景気低迷、消費税増税の中、財政力に見合った、身の丈にあった税金の効果的、効率的な活用を求める。

平山 弘 議員

町の財政は良好だが、厳しい部分もある。

黒字決算はいいことだが、町の「構造改革、選択と集中」で、住民要望が抑制され、町民負担が増えている。

ワクチンの無料予防接種、小中学校の耐震強化工事などは評価する。

今後も三吉団地木造住宅の建て替え、障害者サービスと雇用の場の拡大、子どもの医療費の中学校卒業まで完全無料化を求める。

東部保育所の民間移譲は、公的責任をないがしろにするもので反対である。

駅南側事業は、説明責任を十分果たし、住民合意を得ていくよう求める。



しっかり打ってね



仲よくゴール

平成23年度 一般会

賛成のポイント

自主財源の確保、 発展性のまちづくりに 寄与している

賛成

小野 元次 議員

「岡垣町第5次総合計画」の計画目標「輝き・安全安心・心の豊かさ」のテーマに沿って、岡垣の将来像の実現に向けた施策実施である。

主要なる取り組みは、自然環境の再生、農水産・商工の振興、高齢者・障害者の医療福祉の向上、地域の活性化を図る施策等で、教育では、学校教育力の向上支援や施設耐震化補強等が実施されている。また、JR海老津南側道路等整備事業は、将来の岡垣を担う長年の計画事業であり、平成27年完成に向けて、町の財政状況を踏まえた運営がなされていることを大いに評価をし、賛成である。

太田 強 議員

実質収支及び単年度収支共に黒字決算となっている。依存財源の交付金に頼らざるを得ないなか、宮内町長は、総合計画の行動目標に向けて「輝き」「安全・安心」「心の豊かさ」をキーワードとする岡垣町の将来像をめざした政策の実行がなされていると判断する。決算書に添付されている「主要な施策の成果報告書」においてもそれぞれの項目において「政策・施策の評価」と「評価に基づく今後の取組み」についての方向性も明示されている。

特に昨年に引き続き行われた「外部評価」はより実効性の高い事業や方向性が検証されている、さらに事業のステップアップに向けて活かされるものと評価する。

横山 貴子 議員

平成23年度の実質収支額は4億288万3千円の黒字であり、単年度収支も昨年に引き続き黒字となっている。財政調整基金からの繰り入れを行うことなく各事業を推進され、1億5千万円を財政調整基金に繰り入れの結果となった事は、職員の一人一人が経営健全化に向けての意識と努力の現れと評価する。

しかし今後も、景気の回復がなかなか期待できない現況において、財政は自主財源が減少する方向にあり、依存財源の交付税等の収入に左右される状況である。自主財源を確保できる環境、将来に発展性のあるまちづくりと、さらに行財政改革に全力で取り組んで頂くことを要望し賛成する。

太田 総合型地域スポーツクラブについて研究すべきだ

町長 体育協会など関係団体と連携して研究したい



太田 強 議員

太田 ロンドンオリンピックでの同郷の遠賀町出身の鈴木聡美選手や岡垣町出身の池田信太郎選手の活躍で、町民もスポーツへの関心が一層芽生えたものと思われまます。岡垣町は町営も民営プールもありません。プールなど不足しているスポーツ施設の拡充は民間活力などですっかり取り組むべきと考えますが。

町長 プールなどの建設は建設費用や毎年の維持管理費が多額となるため行政が直接設置するのは難しく、その為に民間活力を導入し、また企業誘致条例などの制度を活用して積極的に支援していきます。

太田 今、国や県もスポーツ振興計画をつくり、スポーツを通して「健康づくり・生きがいがづくり・町づくり・青少年の健全育成」などをめざした「総合型地域スポーツクラブ」の設立を推進しています。

岡垣町の体育協会の活動が活発な今こそ研究すべきと考えますが。

教育長 岡垣町は軽スポーツやニュースポーツなどの団体



ナイスキャッチ

も体育協会に加盟しているもので、子どもから高齢者までが気楽にスポーツを楽しむ環境が整っています。

この点は「総合型地域スポーツクラブ」の構想に近い

西 地下自由通路について

町長 計画どおり進める



西 美千代 議員

西 平成15年に地元海老津4区から駅南側改札口の開設を前提とした「JR海老津駅南側開発促進について」陳情が出されました。その後策定された道路整備基本計画では地下自由通路となりました。その経緯とJRとの協議内容を教えて下さい。

町長 JRとの協議では、社の方針として「南側改札は原則設けない。すべての施設

ので当面は今の状態を継続しながら国、県や近隣の状況、町内スポーツの活動の状況を見ながら体育協会など関係団体と連携して研究していきたいと考えています。

整備費はもとより、維持管理費、人件費など町がすべて負担するのであれば、協議のテーブルに乗ることもある」ということでした。毎年の維持管理におよそ2500万円を負担する事になり、町としては南側改札口の設置はできないと判断し、地下自由通路という考え方になりました。

西 地下自由通路は、南側にエレベーターと階段が設置予定です。長さが46mもあり、死角ができることで、事件や事故などに巻き込まれるのではないかと、多くの町民からの声を聞きます。防犯カメラなど、安全性についてどのよ

うに考えていますか。

町長 北側から南側までフラットなので奥まで見通せる構造になっています。さらに、防犯カメラ・防犯灯や照明を設置し、また、すぐ横には交番が移設される予定ですので、監視の方法を検討し、犯罪が起これないような安全対策を行っていきます。

西 東日本大震災を経験した私たちは、これまで以上に日常の暮らしや価値観を見直さなくてははいけません。地下自由通路については、ぜひ凍結し、当初のJR駅南側の改札口設置に向けて今後もJRとの交渉をしてください。



地下自由道路予定地

西田

地下自由通路は危険ではないか

町長 十分な防犯対策を講じるほか
交番移設も予定している



西田 陽子 議員

西田 南側改札口設置に向けてJR九州との一回目の協議で、国会議員秘書が同席していますが、なぜですか。

町長 実現に向け、政治的な力もお借りし、設置したかったからです。

西田 その効果はなく、地下自由通路に変更され、工事費が当初4億9千万円が一気に8億4千万円に膨らんでいます。

町長 当初は工事費の概算であり、土地代や補償費、設計日等が入っていませんでした。

西田 当初から2倍近くにもなっています。誰のお金ですか。住民はもちろん議員にも知らされていません。

町長 全員協議会等で報告し

ています。工事費がいきなり膨らんだわけではありません。

西田 民間では考えられない膨らみ方です。また、人件費を含めた南側改札口のメンテナンスに概ね2500万円と言われたが、本当ですか。

町長 JR九州が提示した概算の金額です。それを町が負担するのであれば協議のテーブルに乗ることもあると言われました。

西田 3回の協議時間は3時間程度、南側改札口設置に向けて町の熱意が見えませんか。



将来へつなぐバトンリレー

また地下自由通路は長さ46m幅4mで、南小倉駅にも同規模のものがありますが、小倉北署から事件が多発すると聞いています。交番を設置するとありますが、もう決まっていますか。

広渡

町長 JR海老津駅南側道路等事業の縮減を求める

町長

計画どおりの実現化を図る



広渡 輝男 議員

広渡 駅南開発の実現化へ向けて「実現化方針や推進計画」とあわせて「誰が・何時・どのような方法」で進められるのかお尋ねします。

町長 本年6月に駅南側開発をより具体化するための方策検討業務を発注しました。その中で平成20年の「JR海老津駅南側開発事業調査報告書」を踏まえ、民間による住居系開発をより実現性のある

いるのですか。

町長 交番は地下自由通路横への移転建替への方向で協議し、基本的な合意はできています。このことは、これまでも議会で説明しています。

ものにするため、再度区域の検証や町としての方策の検討を行っていきます。

広渡 JR海老津駅南側道路等整備事業の社会資本整備総合交付金（以下交付金）は、昨年度の減額に続き本年度は70%が削減された内示額になっています。不足する財源を①昨年度のように事業を見直すのか②新たな地方債で補うのか③一般財源で補うのかお尋ねします。

町長 交付金の減額に対しては配分額の拡大に向けて国に働きかけを行い、地方債や一般財源で補うことは考えてはいません。あくまで交付金



駅南広場計画地付近

55%の枠の中で進めていきます。

広渡 地下自由通路は莫大な事業費を要する計画で、緊急性、必要性、費用対効果があるとは到底思えません。現在計画されている地下自由通路を凍結しJR海老津駅のコンコースを延長して駅南側から直接駅が利用出来るように、計画の見直しを求めます。

町長 地下自由通路は、既存の北側広場の渋滞緩和やJRにより分断された南北アクセスの改善の観点から整備を行うこととしており、とりわけ歩行者の安全性を考えた中で、白谷踏切及び金比羅踏切を通らずとも安全に自由に行き来できる、現在の地下自由通路案が最良と考えています。

平山

駅南道路等事業は
見直し・凍結すべき

町長 陳情書への回答の中で答えたい



平山 弘 議員

平山 陳情書、署名で多くの町民は、税金は地下自由通路の整備よりも、子育て支援や高齢者に優しいまちづくりに使ってほしいと訴えています。

陳情書をどう受け止めていますか。

町長 陳情を真摯に受け止めています。

平山 事業の見直し及び凍結は、町長がその気になれば出来ることだと思います。検討する考えはありますか。

町長 私が決めれば当然そうなりますが、事業の経過等も踏まえ、果たしてそのことがいいのかどうか、十分考えていかなければなりません。

平山 私たちもこれまで「国

保税の引き下げや下水道料金を値上げしないために、税金を使ってほしい」と言ってきましたが。

町長 子育て支援や住民の健康、福祉の問題は財源状況をみながら、やれることはしっかりやってきたと思います。

平山 いま医療、社会保障の相次ぐ改悪で町民のくらしは苦しくなっています。

この事業は今一度広く町民の意見を求めて、目的、事業内容、予算規模などについて



びわりん&びわすけ

町民の合意を図っていくべきではないですか。

町長 様々な意見があることは承知しています。この事業を着手するにあたっては地元、地権者及び、東部・中央・西部の各公民館で説明し、町

中村

まちづくりについて
さらなる周知・説明を

町長 より一層の努力をしていく



中村 好伸 議員

うきつけにしていただきたいと思えます。

町長 広報への掲載や報道機関へ情報提供の働きかけを行い、積極的なPRに努めます。

中村 JR海老津駅南側開発等について町民の皆様には、ピラ等で間違った情報が提供されていますが、ご存知ですか。

町長 認識しています。

中村 この開発の経過について確認させてください。

町長 平成15年に地元海老津4区から議会に対して開発促進についての陳情があり、議会で採択され、その後順次、議会や地元住民の皆様のご意

報等も使ってお知らせしましたが、そういう認識が町民の皆さんに浸透していないという部分については、十分な説明責任を果たす必要があります。必ずやらなくてはならないと考えています。



50周年記念Tシャツ

見を聞きながら検討し、今後の岡垣町の発展のため着手してきた事業です。

中村 総事業費21億5千万円は、町だけが1年間で負担するものなのですか。

町長 国県補助金が12億2千万円で、町の負担は、起債7億4千万円と一般財源1億9千万円です。起債は20年間で償還します。また、事業期間は平成21年度から平成27年度までの7年間です。

中村 基金や起債に関しても、間違った情報が頒布されています。町民の皆様に対して説明責任があるとともに、間違った情報を正して伝える義務も果たすべきと考えます。
町長 広報・出前講座等で説明責任を果たしていきます。

中村 平成24年10月をもって、岡垣町は町制50周年を迎えますが、これまでの記念事業についてどう考えていますか。

町長 OK G 51の歌とダンス、記念Tシャツ・ポロシャツの着用等50周年のPRにつながっていると認識しています。

中村 町制50周年を、町内外の多くの方々に周知し、岡垣町のことをもっと知ってもら

町議会50年

④ 下水道

快適な暮らしの前提に水道・下水道・電気・ガスのインフラがあることを当たり前にしている現在、失った時にその有難さを再確認させられるのは、町が災害にあった時・非常時です。

これらのなかで自治体間での取り組みに大きな違いが表れるのが「下水道」政策です。

遠賀郡全面積の半分を占める岡垣町の「下水道」の50年を振り返ります。

1 その背景

町制施行に合わせるように、団地の開発・宅地造成が進み人口が増えるとともにいわゆる環境対応が求められるようになって来た。生活雑排水が河川に流入し、その水利をもって農業に従事する農家に影響が始めていた。同時に道路側溝を流れる排水も人口増とともに大きな課題となってきた。



岡垣町浄化センター（糠塚）

2 経過

昭和46年の総合計画で下水道計画が図をもって示されている（終末処理場の位置含む）が、具体的に計画の形が見えてくるのは、現在地に地元地権者との下水処理場用地の協議が昭和57年大きく進んだ頃と考えてよい。

この間、昭和49年3月策定された下水道基本計画が行政内部で継承され、また折に触れ当事の辻町長が「下水道」を行政課題と挙げながらも、

昭和57年まで待たねばならなかったのは、処理場の位置の問題、宅地造成の進み具合、計画全体の見直し、特に財政上の将来見通し（事業費総額200億）、旧海老津駅周辺整備・役場庁舎増築等を勘案しながら、昭和57年策定・議決された第2次岡垣町総合計画をもって、町民・議会・行政あげて合意の「覚悟」の「200億」なくして町勢の発展は望めないとしたところからであろう。その当

事は議会・執行部の心持ちは推測する以外ない。昭和59年3月定例会で公共

下水道準備基金設置条例が可決、翌60年には公共下水道事業が特別会計として予算提案され、本格的な事業取り組みが始まった。岡垣町で公共下水道の配管（管渠工事）がされたのは、現東高陽1丁目と東高陽2丁目間の簡易信号機のあるところから鍋田池に向かって約1千万円の予算で町内業者が施工したと記録にあ



西部浄化センター（手野）

を踏まえながらも、計画区域外の浄化槽設置の助成・促進、計画区域内未整備地域の解消、同時に糠塚最終処分場の維持管理、海老津台4区・旭南の埋設ヒューム管管渠の老朽化対策（今年度調査着手）等、財源を含め議会として不断の取り組みを忘れてはならないと考える。

平成3年供用開始されたが、それと同時に海老津台4区と旭南の民間浄化槽で処理されてきた区域が編入された。

下水道の普及は、同時に水道の施設・水源を留意しなければならぬもので、水道事業特別会計の安定的な運営も議会・行政の責任の内にあることは言うまでもない。

以来、平成4年には関係区長からの陳情を受け、平成8年に農業及び漁業集落排水事

業の基本計画を策定し平成14年4月供用を開始したのは記憶に新しいところで、その年度の予算を含めて条例の制定・改廃に議会が責任を持って議決してきた歴史の積み重ねの中に今の岡垣町があると考える。

3 これから

現在一般会計から下水道事業特別会計へ4億7300万円（起債償還充当）の繰り入れを行っているが、起債残71億8800万円、最終償還年平成53年（平成23年度決算）

総務産業常任委員会

日時・平成24年8月22～24日

視察先

神奈川県川崎市 (株)東芝

藤沢市

農林水産省・林野庁

視察の目的

- ・スマートコミュニケーションプロジェクトについて
- ・サステイナブルスマートタウンについて
- ・松枯れ対策に関する陳情



スマートハウスの仕組みを体験(東芝科学館)

太陽光発電設備や地区電池、各種の省エネ家電等を備えたスマートハウスは優れた環境と快適な居住地が両立した次世代型の住宅であり、そのライフスタイルを、企業と行政が一体となって取り組んでいます。本町も含めて大半の自治体は、その在り方を模索しているのが現状です。

産省、林野庁に陳情を行い、岩本司副大臣や沖国有限野部長に三里松原の松枯れの現状を説明し、抜本的な対策を強く要望いたしました。

国内でも有数の自然遺産であり、郷土の美しいシンボルの三里松原は現在危機的な状況にあります。総務委員会は、国や県をはじめ地元が一体となって松枯れ防止に向けた取り組みを積極的に進めていかねばならないと思っております。



松枯れ対策の陳情(林野庁)

文教厚生常任委員会

日時・平成24年6月25～27日

視察先

富山県小矢部市

射水市

石川県内灘町

津幡町

視察の目的

- ・福祉問題・高齢者問題
- ・障害者対策・健康づくり他

小矢部市では、認知症安心ネット、高齢者徘徊見守りな

どの事業を多くの住民、団体、企業の協力を得て「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をめざしていました。

射水市では、障害者地域活動支援のセンターが、施設や通所作業所などを多機能型に移行し、新体系で支援事業の取り組みを拡大・強化していました。

内灘町では、金沢医科大学

や地元医療機関と連携し、高齢者の健康づくりや、子育て支援をICカードを活用した取り組みがされていきました。

津幡町では、町と社会福祉協議会、老人会等の地域の人々と連携した取り組みを進めていきました。

老後の生きがいを記入する「生きがい手帳」事業。食事を通して生きる力を持つべく「お口づくり」事業。また高齢者の「日常のお手伝い」事業をすすめていきました。

包括支援センターの取り組み



津幡町歴史資料収蔵庫にて

みは目を見張らせました。

保健師、作業療法士、自殺予防相談員など10人体制で、実態を把握して総合相談事業とし、とにかく話を聞く、総合的に相談にのる。一人で解決しない場合は地域の人の力も借り、ネットワークで一緒に解決する体制でした。

また津幡町では、廃校を利用した歴史資料収蔵庫も視察しました。

岡垣町でも多種多様の施策が取り組まれています。

視察研修で得たものを岡垣町でも生かしていきたいと思っております。

議会の動き

議会広報特別委員会

日時・平成24年8月2～3日
視察先
・鳥取県北栄町

視察の目的
・議会だより編集について
・議会中継インターネット
配信について

大山町

6月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議題
6月22日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
6月26日	視察受入	熊本県大津町(住民懇談会について)
6月29日	総務産業	閉会中の継続審査(陳情)
7月4日	文教厚生	歴史文化研究会との懇談会
7月4日	議会運営	議長からの諮問
7月6日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
7月10日	総務産業	閉会中の継続審査(請願)
7月18日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
7月24日	文教厚生	教育問題
7月26日	視察受入	水巻町(議会だよりについて)
7月27日	総務産業	閉会中の継続審査(請願)
7月31日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
8月10日	議会運営	議長からの諮問
8月22日	文教厚生	福祉施設視察
8月27日	議会運営	9月定例会
9月7日	本会議	上程
9月7日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
9月10日	一般質問	4人
9月11日	一般質問	2人
9月11日	総務産業協議会	陳情(ナフコ)協議
9月12日	総務産業	付託議案審査
9月13日	文教厚生	付託議案審査
9月14日	全員協議会	町制50周年記念式典 他
9月14日	議会運営	追加議案
9月18日	連合審査会	付託議案審査
9月19日	連合審査会	付託議案審査
9月20日	本会議	追加議案上程
9月20日	連合審査会	付託議案審査
9月21日	総務産業	付託議案(陳情第3号)
9月24日	本会議	議決
9月24日	議会広報	議会だよりおかがきの編集

「身近で見える議会」「信頼される議会」を目指し、読んでもらえる議会だよりの編集と発行に取り組むために広報特別委員6名全員で視察研修を行いました。

北栄町は、全国の議会広報のコンクールで過去に1位をとられたところです。まずは

議会に関心を持ってもらう、議会だよりを読もうと言う気にさせるために紙面に変化を付け、インパクトのあるタイトルにすることや、極力専門用語を使わないなどの工夫をされていました。

大山町は、特に議会だよりを読んだことのない方に興味を持ってもらうために、特集ページで取り上げた方たちを表紙に持つてくるなどの工夫

をされていました。

また、インターネットによる議会ライブ中継や、録画配信についても取り組みの様子を研修しました。

今回の研修では、意見交換や情報交換を行うことができ、今後の編集作業において参考になることが多く、大変有意義な視察でした。



北栄町にて

町制50周年事業

9月29日に岡垣町町制50周年記念式典およびアトラクションが行われました。50周年事業は来年3月の「春まつり」まで続きます。



会議録を閲覧してみませんか



- ◆ 会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆ 会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

まつり岡垣

天高く澄みわたった青空のもと「まつり岡垣」には町内外からたくさんの参加でにぎわいました。



どうぞ
傍聴席へ

次の定例会は

11月28日(水)
開会の予定

編集後記

神崎 宣昭

岡垣町三里松原海岸に2年ぶりにアカウミガメが産卵に帰ってきた。台風16号が通り過ぎる中81個の卵が孵化し、ヨチヨチ歩きで海に戻ってゆく姿を見送りながら、「無事に大きくなって戻って来てくれよ」と心のなかで祈っていた。

三里松原海岸は白砂青松の砂浜百選にもえらばれた。素晴らしい海岸だ。しかし私が見てきた三里松原は半世紀の間で随分様変わりした。海岸線は侵食され、砂浜にはテトラポットが置かれ、青々と茂っていた黒松は松食い虫の被害で朽ち果て、深緑色に輝いていた松林は、茶色に変色してしまっている。今年巣立って行ったアカウミガメが再び戻って来る頃には、三里松原海岸はどのような景色になっているのだろうか。

発行責任者

議長 曾宮良壽
議会広報特別委員会

委員長 西 渡 輝 男
副委員長 西 美千代
委員 横山 貴子
委員 西田 陽子
委員 中村 好伸
委員 神崎 宣昭